

②地域住民、関係機関が連携した石神井川の整備 ～人々が集い、自然とふれあえる空間の創出～

受賞機関 東京都 第四建設事務所
東京都 西部住宅建設事務所

キーワード 都営アパートの建替え事業、川づくり懇談会、緩傾斜護岸、良好な水辺空間

全建賞審査委員会の評価ポイント

石神井川沿いに建ち並ぶ都営アパートの建替え事業に伴い、創出されたオープンスペースを河川と一体的に整備。関係機関や地域住民で構成される「川づくり懇談会」で取りまとめた整備方針に基づき、「人々が集い、自然とふれあえる良好な水辺空間」を整備。河川の自然営力も活かし、生態系を身近に感じられる空間整備がなされ、計画段階から住民が参画し、意向調査を実施するなど、地域との一体的な取組などが評価された。

1. はじめに

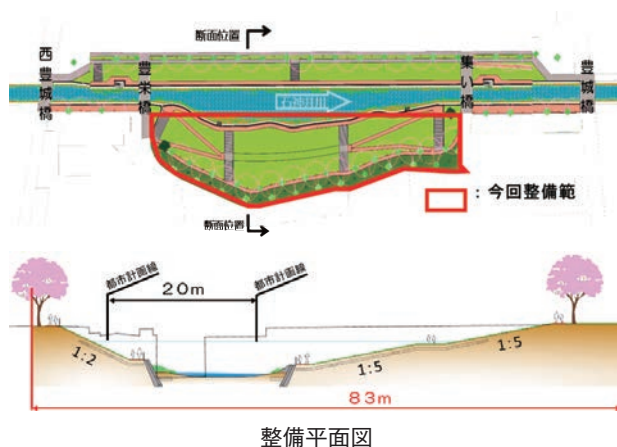
石神井川は、東京都小平市を源とし、東京都北部を東へ流れ、隅田川に合流する延長25.2kmの一級河川である。河川は東京の都市部における貴重なオープンスペースであるため、治水機能に加え、良好な水辺空間としての役割が求められている。そのため、護岸改修に併せて、親水護岸や川沿いの遊歩道となる河川管理用通路の整備、植栽による緑化など、人々が水辺に親しめる環境整備を進めている。

2. 事業の概要

石神井川の上流端から7km付近、練馬区内の豊城橋から西豊城橋までの約500mの区間で、都営上石神井アパートの建替えと連携し緩傾斜護岸を整備した。

当初の計画では、石神井川沿いに建つ低層階の既存アパートを、建替えに伴い高層化し、創出されたスペースを公園として整備する予定であった。そこで、川沿いの立地を活かし、水辺と一体となった空間づくりが可能と考え、親水性や景観に配慮したより良い空間づくりを目指して、地域住民、学識経験者、行政機関等をメンバーとした「石神井川上石神井アパート付近の川づくり懇談会」を立ち上げた。

懇談会では、参加者の忌憚のない意見を引き出すため、お互いに顔を見ながら発言できる座席配置にするなど、誰もが対等に発言しやすい雰囲気づくりに努めた。特に議論が深まったのは、親水性と安全性の両立であった。水辺に近づく構造は、川への転落や増水時の避難などの課題も併せ持っていることから、緩傾斜構造や転落防止柵の設置などについて、活発な議論を重ねることで合意形成を進め、整備方針や基本デザインを取りまとめた。



整備平面図



整備後

3. 事業の成果

懇談会で決まった整備方針に基づき、平成30年度から工事に着手した。台風による倒木や冠水などのトラブルにも対応しながら、令和4年12月に工事が竣工し、令和5年2月に一般開放された。

現在では、保育園児の遊び場や地域住民の憩いの場として活用されるほか、カワセミやコサギなどの野鳥も頻繁に確認されるなど、自然との調和が見られる水辺空間となっている。

4. おわりに

本事業は、河川整備と都営アパート建替えを連携させ、地域住民の意見を反映した水辺空間の創出を行った優れた事例といえる。今後も、地域と行政が協力しながら、魅力ある都市空間の形成を目指していく。